

(2014年5月発行)

日本胃癌学会ニュース

日本胃癌学会 企画・広報委員会発行

## 第86回日本胃癌学会総会学会報告

小泉和三郎（学校法人北里研究所北里大学医学部消化器内科学）

第86回日本胃癌学会総会は、2014年3月20日（木）～22日（土）の3日間にわたってパシフィコ横浜（会議センター）で開催されました。

今回のテーマを胃癌の征圧・叡智と実践—Total Control of Gastric Cancer : Wisdom and Practice—とさせていただきます。

近年、胃癌診療は極めて進歩し、世界的にも十分に誇れる成績を成し遂げてまいりました。しかしながら、未だにすべてを完全治癒へと導くことは出来ておりません。医師をはじめ看護師、薬剤師、メディカルスタッフ、製薬メーカー、医療機器メーカー、行政も含め、すべての叡智を結集して、アイデアを共有し、それらを具体的に実践することにより、胃癌を完全に征圧しなければなりません。そのためには胃癌の予防から早期発見、早期治療、低侵襲治療、化学療法、緩和医療までバランス良くトータルに発展進歩することが重要であります。会員の皆様方からの多数の主題テーマをいただき、演題応募を行ったところ国内外から1000を超える演題をいただきました。主題は55テーマ、351演題。一般演題は678演題。共催セミナーは19題と盛りだくさんの内容となりました。

教育講演を4演題、International Sessionを5テーマ設定し、内外のコンセンサスを共有いたしました。また、今回はVirtual Cancer Boardとして症例検討会の試みを取り入れてみました。各分野の各視点からのご意見をいただきディスカッションは大いに盛り上がりました。コンセンサスマーケティングでは胃癌治療ガイドライン第4版の改訂ポイントと題し、最新の改訂情報が聴講できました。特別講演には予防医学としての胃癌のABC検診を三木一正先生に、ヘリコバクターピロリ感染胃炎に対する除菌療法を浅香正博先生に御講演をお願いしました。2013年2月21日ヘリコバクターピロリ感染胃炎に対する除菌療法が保険承認され、胃癌予防が大きく前進するものと期待に胸を膨らませております。新しい胃癌予防の幕開けを実感していただけたのではないかと思います。また、「TPPで何が変わる？」と題した特別企画で、経済アナリスト・森永卓郎氏を始め、内閣官房TPP政府対策本部・内閣審議官の渋谷和久氏や神奈川県医師会の菊岡正和先生にご講演をしていただきました。どのプログラムもとても活気にあふれていました。

また、2014年は破傷風菌の純粋培養や血清療法を確立した学祖北里柴三郎博士が創

設した北里研究所 100 周年にあたり、記念資料展示室を設置いたしました。多くの参加者の方に日本が誇る北里博士が医学史に果たした偉大な業績に触れていただき大変好評でありました。

2 日目には全員懇親会を開催し、大さん橋よりロイヤルウイング号に乗船し、横浜の美しい夜景を楽しみながらのディナークルージングを多くの参加者の皆様に楽しんでいただきました。

最終日には市民公開講座を「そこが知りたい！胃癌の早期発見・早期治療」と題し開催いたしました。

たくさんの市民の方々にお集まりいただきました。また、市民の皆様にも北里柴三郎記念展示室を開放しご好評をいただきました。

先生方には何かとご迷惑をおかけし、また不行き届きの点も多々あったかと存じますが、何卒ご寛容賜りますようお願い申し上げます。

学会は 2,100 名余りの参加者を得て、盛会裡に無事終了することが出来ました。これもひとえにご協力いただいた学会役員の先生方、総会に参加いただきました皆様など、多くのご支援をいただき深く感謝申し上げます。

## 第 87 回日本胃癌学会総会のご案内

第 87 回日本胃癌学会総会 会長 二宮基樹（広島市立広島市民病院外科）

1962 年に発足した胃癌研究会を基盤に私達の誇るべき多くの先達によってもたらされた数多くの意義深い研究成果は、胃癌治療を飛躍的に進歩させ世界を領導してきました。そして、1998 年に胃癌学会へと発展してもその潮流は継続しており、総会は国内のみならず世界に開かれた最新の胃癌の基礎と臨床研究の成果を語り・学ぶ場として発展してきています。この様な伝統と活力のある第 87 回胃癌学会総会を広島で開催させて戴きますことは、長いあいだ胃癌の診療に関わって参りました私にとってこの上なく光栄なことでありますとともに、その重責を深く感じております。

総会のテーマを「分化と統合」とさせて戴きました。私達は各専門領域で技術を徹底的に追い求め匠への道を目指すことは得意としていますが、そこでもたらされた成果を統合し新しいものを産み出し、組織としてよりダイナミックに発展させることを苦手にしているとされています。

胃癌の各領域でもたらされた成果に対して、同じ立場あるいは隣り合う立場同士で十分な論議を重ね、結果として着実な進歩となるような新しい知見を産み出す「統合」がなされることを祈念してテーマを選定させて戴きました。

また、現在の医学は医師だけでなせる部分は極めて少なくなっています。看護師、薬剤師、栄養士をはじめとして多くの medical staff との共同作業なくして医療は成り立



平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日の新入会が 321 名、退会が 88 名であり、平成 26 年 1 月 1 日現在の会員数は 5,140 名（会員内訳 外科系：81.5%、内科系：15.8%、基礎系：2.3%、不明：0.4%）であることが報告された。続いて平成 25 年度会費納入状況が報告された。

次に逝去者が報告され、物故者の冥福を祈るために全員で黙祷した。

物故者（第 85 回総会以降現在まで：五十音順、敬称略）

芦川 敏久（アシカワ トシヒサ）  
大柴 三郎（オオシバ サブロウ）（名誉会員）  
杉山 正憲（スギヤマ マサノリ）  
鈴木 信彦（スズムラ ノブヒコ）  
田中 宣威（タナカ ノリタケ）  
千々岩 一男（チヂイワ カズオ）（代議員）  
徳元 伸行（トクモト ノブユキ）  
中里 博昭（ナカザト ヒロアキ）（名誉会員）  
中間 輝次（ナカマ テルツグ）  
前川 誠（マエカワ マコト）

### 第 3 号議案 平成 25 年度事業報告に関する件

1) 財務委員会報告（馬場 秀夫 理事）

第 4 号議案および第 6 号議案に記載。

2) 会則委員会報告（安井 弥 委員長）

特に無し。

3) 会誌編集委員会報告（北川 雄光 委員長）

規約ならびにガイドラインの掲載に伴い高いインパクトファクターが付き、投稿数は順調に増加していることが報告された。今後の論文投稿に関して、介入試験については各施設の IRB 承認を必須とすることが決定した。西記念賞として 3 名の先生方の論文を選出したが、本年度より基礎系論文の選考について、基礎関係の委員からの推薦を受け選出する方法に変更することが理事会で承認された旨が報告された。学会誌“Gastric Cancer”の完全オンライン化に伴い、“My web”を通じて閲覧する方法に移行したことが報告された。

4) 胃癌規約委員会報告（佐野 武 理事）

食道胃接合部の扱いについて、食道学会と共に新たな規約を作成した。胃癌取扱い規約については、今後の TNM の改訂に伴って規約改訂を行う予定であることが報告された。

5) 胃癌登録委員会報告（片井 均 委員長）

現在、HP 上で 2005 年までの登録症例の情報が閲覧可能であることが報告された。2006 年度の手術症例が約 25,000 例、EMR/ESD 症例が約 5,000 例の登録があり、解析が終了したことが報告された。NCD への参加については、予後情報が付加されるまでは現行のまま胃癌学会としても登録を行っていくことが紹介された。

6) 国際委員会報告 (佐野 武 委員長)

2013 年 6 月に Verona において開催された国際胃癌学会へのサポートを行ったことが報告された。平成 26 年度の日韓合同ボードミーティングを 5 月に開催される韓国胃癌学会の期間中に開催する予定であることが報告され、日韓合同で行った REGATTA 試験の結果について本総会期間中に発表する予定であることが報告された。

7) 保険診療検討委員会報告 (小野 裕之 委員長)

本年度の診療報酬改定によって、LECS が保険収載されたことが報告された。「内視鏡における適正な診療報酬に関するワーキンググループ」については、引き続き胃癌学会からも参加し、他学会と共に適正な診療報酬について検討していく予定であることが報告された。

8) 企画・広報委員会報告 (土岐 祐一郎 委員長)

第 14 回市民公開講座は、平成 25 年 3 月 2 日に平川 弘聖 前会長を世話人として大阪市で開催し、第 15 回は池口正英 代議員を世話人として 11 月 16 日に米子市で開催したことが報告された。学会誌のオンライン化に伴い、学会ニュースをメールや HP 上で周知する予定であることが報告された。

9) 胃癌治療ガイドライン作成委員会報告 (佐野 武 委員長)

ガイドライン作成の最終案が纏まり、評価委員会に提出したことが報告された。主たる改訂点については、総会のコンセンサスマーティンで報告予定であることも報告された。

10) 胃癌治療ガイドライン評価委員会報告 (片井 均 委員長)

現在、第 4 版の評価中であることが報告された。第 3 版の使用状況に関するアンケート調査を行い、総会のコンセンサスマーティンで結果を発表予定であることが報告された。

11) 代議員選挙管理委員会報告 (安井 弥 委員長)

平成 26 年度 (第 5 期) の代議員選挙が昨年 10 月に行われ、有効投票数 2,665 票 (70.1%) であり、得票数 5 票以上の 315 名を当選とし、理事会での承認を得た上で 12 月に委嘱状を送付したことが報告された。

12) 非選挙代議員選考委員会報告 (笹子 三津留 委員長)

一般会員と代議員の専門化別比率を近づけることを目的として、外科以外の 36 名の非選挙代議員を選出したことが報告された。

13) 倫理委員会 (坂田 優 委員長)

研究推進委員会から提出された研究課題や、食道胃接合部癌に関するアンケート等、

計 5 件の研究課題に関して審議し、承認したことが報告された。

14) 研究推進委員会 (二宮 基樹 委員長)

現在進行中の研究ならびに現在検討中の課題についての纏めが報告されたが、資金面の問題もあるため、今後は公的資金の獲得の必要性が確認された。

15) 利益相反委員会 (坂田 優 委員長)

各委員会委員の選出の際に、COI 提出の徹底を図ることが確認された。

16) 将来構想検討委員会 (大辻 英吾 委員長)

専門医制度について、継続審議中であることが報告された。

17) プログラム委員会 (二宮 基樹 委員長)

本総会において、プログラム委員によるセッションの評価を行う以外に、一般参加者に対しても学会会場においてもアンケートを行う予定であり、次年度以降の総会プログラムの立案等に役立てる方針であることが報告された。

18) 総務委員会 (寺島 雅典 委員長)

オンライン会員登録システム “My web” の登録率は依然低率であり、今後も引き続き周知を図ることが報告された。会費納入について、オンライン決済機能の導入について提案され、満場一致で承認された。

#### 第 4 号議案 平成 25 年度収支決算報告に関する件 (馬場 秀夫 理事)

「一般社団法人日本胃癌学会」の平成 25 年度財務諸表及び収支計算書が提出された。収入については、代議員選挙に伴う会費納入率の回復による大幅な増額を認め、寄附金収入として、平成 24 年度に予定されていた大鵬薬品からの 200 万円の協賛金を受けたことが報告された。支出については、事業費支出として約 3800 万円、学術集会準備費として約 1506 万円、学術集会運営費として約 7113 万円、管理費支出として約 1912 万円であり、結果として当期収支差額は 5,757,733 円の増加であり、辻仲 利政 監事、梨本 篤 監事の監査を受けたことが報告され、満場一致で承認された。

#### 第 5 号議案 平成 26 年度事業計画承認の件 (笹子 三津留 理事長)

以下の事業内容が示され、代議員会にて満場一致で承認された。

- 総会の開催
- 会誌発行
- 日本胃癌学会学会賞 (Nishi Memorial Award)
- 「胃癌取扱い規約」の改訂作業
- 「胃癌治療ガイドライン」の改訂作業
- 胃癌登録事業
- 胃癌登録データの解析
- 国際胃癌学会への協力

- 市民公開講座の開催
- その他各種委員会活動

#### 第6号議案 平成26年度補正予算案・27年度予算案承認の件（馬場 秀夫 理事）

平成25年度補正予算案ならびに27年度予算書案が提出された。概ね例年通りの予算が組まれたが、平成26年度には171万円の減価償却引当資産取得支出、ソフトウェア取得支出として約150万円の計321万円の投資活動支出事業費支出が新たに予算として組まれたことが報告された。その結果、26年度は、470万円の赤字予算であり、27年度には10万円の赤字予算となることが報告された。第87回総会予算も提出され、事業活動収支として約414万円の黒字予算であることが報告された。島田英昭代議員より、予算案における会費収入が低く見積もられている点が指摘されたが、収入の部においては予め低めの設定としたことについて小林税理士より説明が行われ、平成26年度補正予算案・27年度予算案共に、満場一致で承認された。

#### 第7号議案 平成26年度役員選出、選任に関する件（笹子 三津留 理事長）

次期会長(第87回総会会長)として二宮 基樹 副会長が満場一致で選任された。また、次々期会長(第88回総会会長)に関しては、1名のみ立候補であったため選挙は行わず、佐野 武 理事(がん研有明病院消化器外科)が満場一致で選任された。

理事に関しては、15名の立候補があり、選挙の上、以下の14名が選出、選任された(届け出順)。

安井 弥	(広島大学大学院分子病理学)
大辻 英吾	(京都府立医科大学消化器外科)
小寺 泰弘	(名古屋大学大学院消化器外科)
寺島 雅典	(静岡県立静岡がんセンター胃外科)
掛地 吉弘	(神戸大学大学院食道胃腸外科)
片井 均	(国立がん研究センター中央病院胃外科)
落合 淳志	(国立がん研究センター臨床腫瘍病理分野 東病院・中央病院 病理・臨床検査科)
土岐 祐一郎	(大阪大学消化器外科)
吉田 和弘	(岐阜大学腫瘍外科)
瀬戸 泰之	(東京大学消化管外科)
小野 裕之	(静岡県立静岡がんセンター内視鏡科)
今野 弘之	(浜松医科大学外科学第2講座)
後藤田 卓志	(東京医科大学消化器内科)
朴 成和	(聖マリアンナ医科大学腫瘍内科)

次点：

藤原 俊義（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学）

監事に関しては、3名の立候補があり、選挙の上、以下の2名が選出、選任された（届け出順）。

笹子 三津留（兵庫医科大学上部消化管外科）

平川 弘聖（大阪市立大学大学院腫瘍外科）

次点：

馬場 秀夫（熊本大学大学院消化器外科学）

## 第8号議案 次回総会開催時期および開催地に関する件（二宮 基樹 第87回会長）

第87回日本胃癌学会総会

会 長： 二宮 基樹（広島市立広島市民病院外科）

会 期： 平成27年3月4日（水）～3月6日（金）

テーマ： 分化と統合 Differentiation and Integration

会 場： 広島市、リーガロイヤルホテル広島・広島県立総合体育館

## II. Nishi Memorial Award（西記念賞） 表彰式

西記念賞授与式が挙行され、賞状と賞金目録が笹子 三津留 理事長より受賞者に授与された。

受賞者ならびに受賞論文

### 1. 山口 研成 先生

Efficacy and safety of capecitabine plus cisplatin in Japanese patients with advanced or metastatic gastric cancer: subset analyses of the AVAGAST study and the ToGA study.

Gastric Cancer 16(2): 175-182

### 2. 藤谷 和正 先生

Pattern of abdominal nodal spread and optimal abdominal lymphadenectomy for advanced Siewert type II adenocarcinoma of the cardia: results of a multicenter study.

Gastric Cancer 16(3): 301-308

### 3. Dr. Lapo Bencini



The Cholegas Study: safety of prophylactic cholecystectomy during gastrectomy for cancer: preliminary results of a multicentric randomized clinical trial. Gastric Cancer 16(3): 370-376

### Ⅲ. 次回国際胃癌学会開催のご案内 第 11 回国際胃癌学会会長よりご挨拶

Prof. Bruno Zilberstein

The Congress President of 11<sup>th</sup> International Gastric Cancer Congress  
Professor of Sao Paulo University (Department of Gastroenterology) and  
President-elect of IGCA

11<sup>th</sup> International Gastric Cancer Congress

会期: Jun 04-06, 2015

開催地: The World Trade Center (WTC) Event Center Sao Paulo  
Sao Paulo, Brazil

第 11 回国際胃癌学会会長 Sao Paulo University Professor Bruno Zilberstein  
より挨拶があった。

### Ⅳ. その他

前原 喜彦 代議員から、学会員の減少傾向に対する今後の学会としての方策、ならびに学会の更なる活性化について役員会での議論を期待したいとの意見が出された。また、理事と一般会員の専門化の比率が異なる点について、選出理事の増加もしくは専門化別理事の比率の見直しなどについての議論を期待するとの意見が出され、今後理事会でも検討していくことが確認された。

### 閉 会

すべての議案が終了し、議長により閉会が宣せられた。

議長(理事長) 署名 \_\_\_\_\_ 笹子 三津留

議事録署名人 署名 \_\_\_\_\_ 小嶋 一幸

議事録署名人 署名 \_\_\_\_\_ 室 圭